

# 水土里レポート

投稿月日	令和8年1月26日(月)
タイトル	四区町環境保全会による脱穀体験
水土里レポーター名	水土里ネット那須野ヶ原 専務理事 星野恵美子

10月19日(日)午前中に、四区町環境保全会による田んぼの学校が開校され、脱穀体験が行われました。

この日の参加者は、約59名と多くの方が参加してくださいました。

最初は、足踏み脱穀機や唐箕(とうみ)の使い方、活動全般の注意事項の説明のもと安全対策に万全を期し、脱穀体験の開始となりました。

実際に、足踏み脱穀機を使い稲からもみを取る作業ですが、稲は前回の稲刈り作業により刈り・乾燥させておいたを使います。

足踏み脱穀機はペダルを踏んでU字針金の付いたドラムを回転させ、稲の先端を当ててもみを取る装置です。気を付けないと手などが巻き込まれてケガをする可能性があるため、大人が両隣で補助しながら脱穀していきます。結構、力強く踏まないとうまく動かないので、子供たちも最初は苦戦していましたが、次第に慣れていったのか楽しそうに脱穀作業を行っていました。

最後に、脱穀したもみは稲の葉や藁くずがついているので、唐箕(とうみ)を使い、もみとくず等を分別します。唐箕(とうみ)は、右側のハンドルを回すと中についている風車が回り、左側に風を送ります。そして、上からもみを少しずつ入れることによって、くず等の軽いものは左側の出口から出ていき、もみなど重いものは下にある出口に落ちていきます。脱穀したもみを全て分別し、作業終了となります。作業後は、恒例のおにぎりが配られ解散となりました。次回は、収穫祭で餅つきとサツマイモ掘りを行う予定で今からとても楽しみです。



世界かんがい施設遺産

World Heritage Irrigation Structure in Japan

平成29年10月 栃木県内初!

~「那須疏水施設群」が登録~



水土里ネット

〒320-0201 栃木県那須野ヶ原

地域の財産! みんなで守ろう! かけがえのない 美しい水

みどり

水土里ネット 那須野ヶ原